

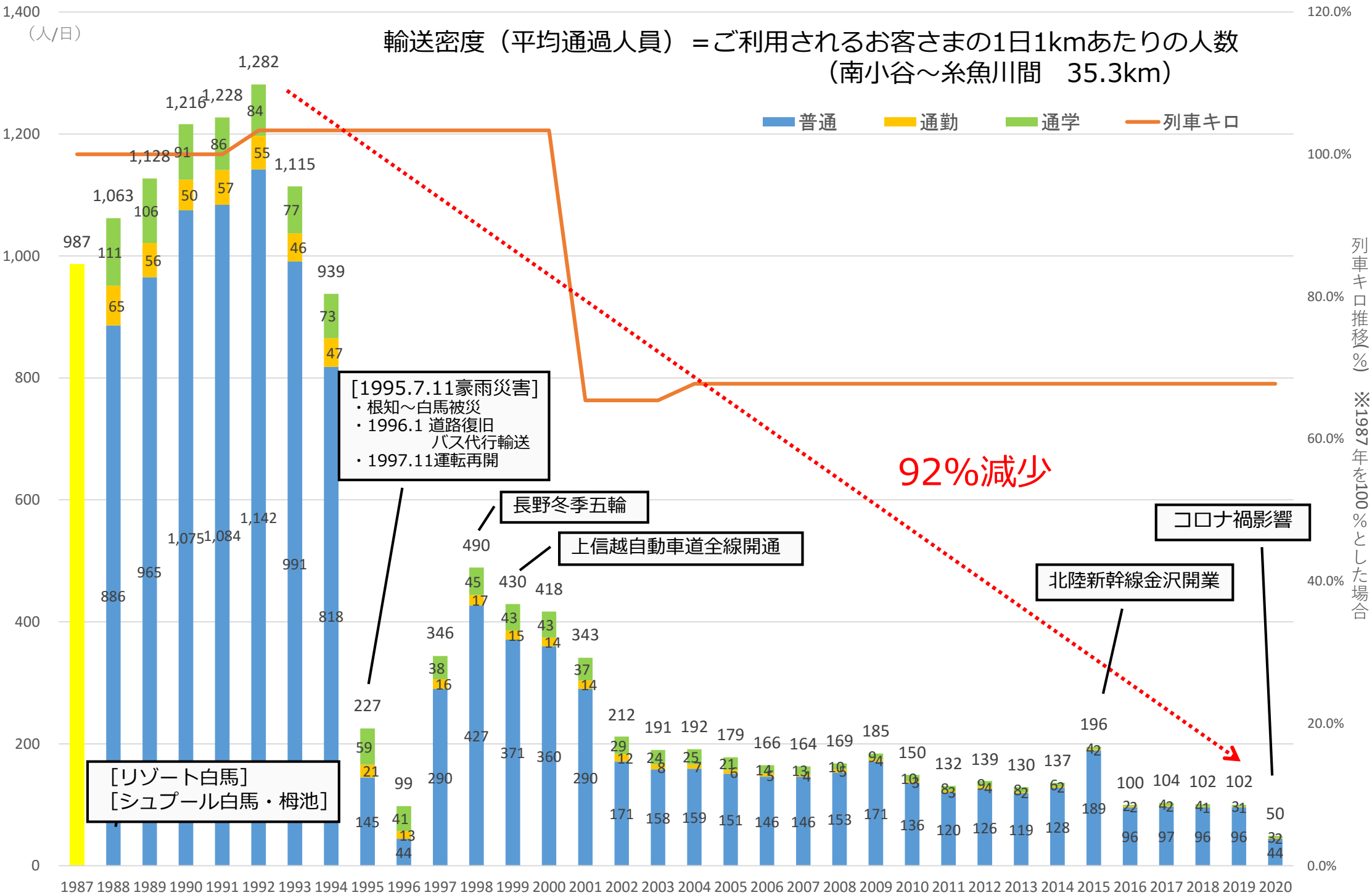
第2回 振興部会 資料

～大糸線沿線の活性化および持続可能な路線としての方策検討～

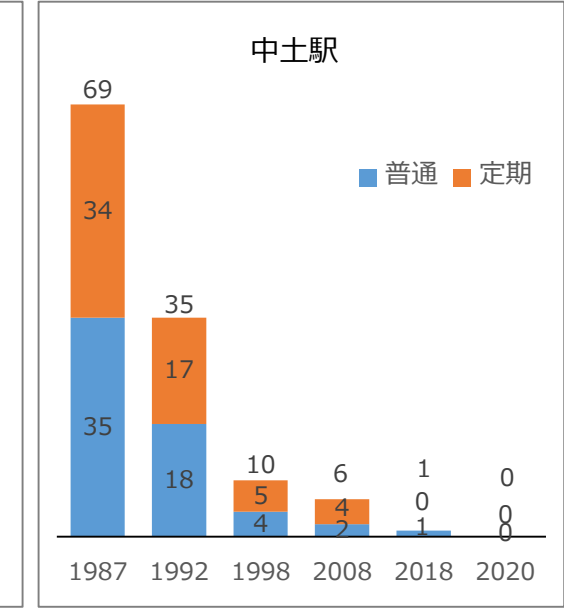
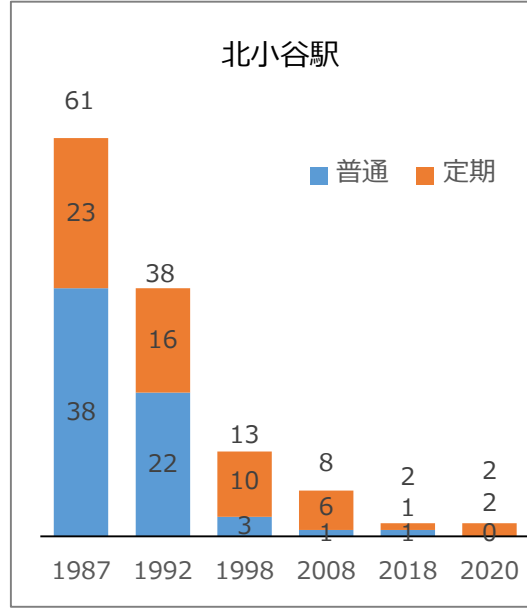
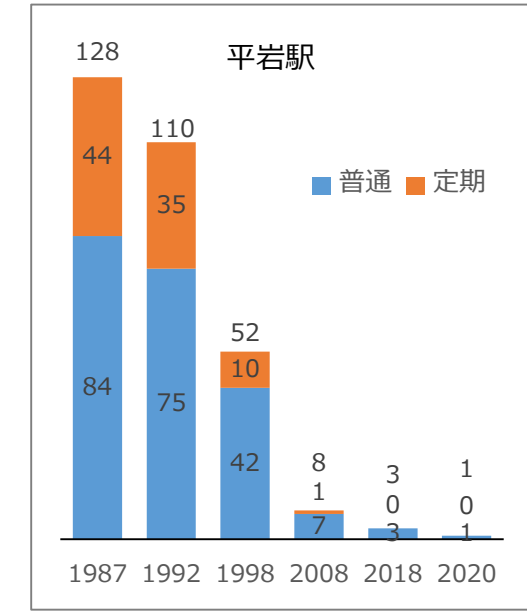
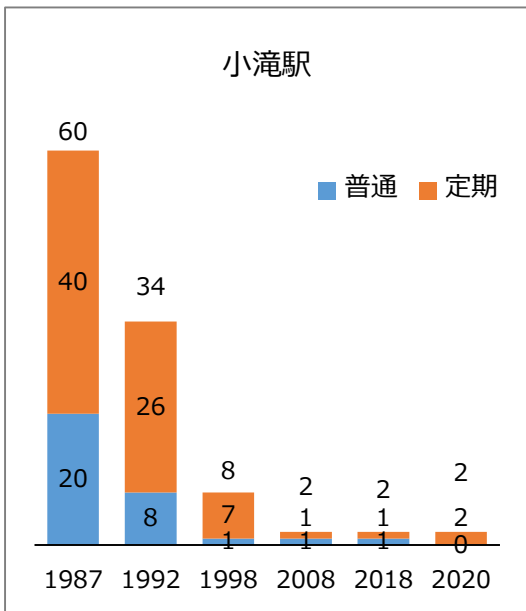
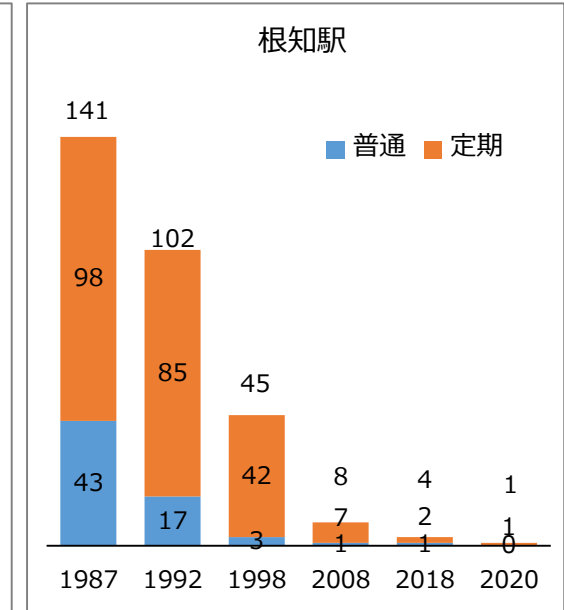
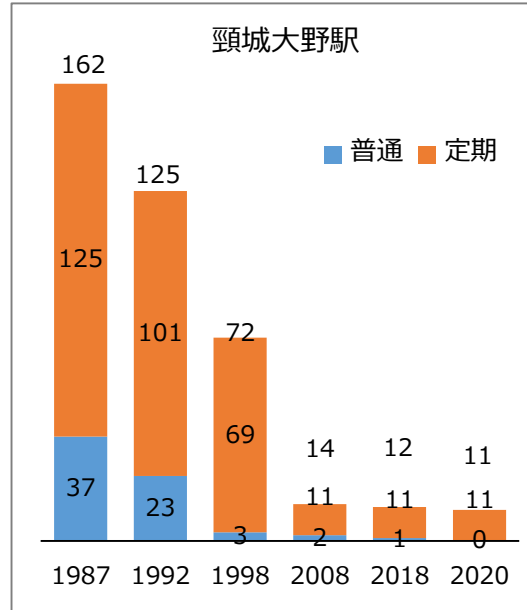
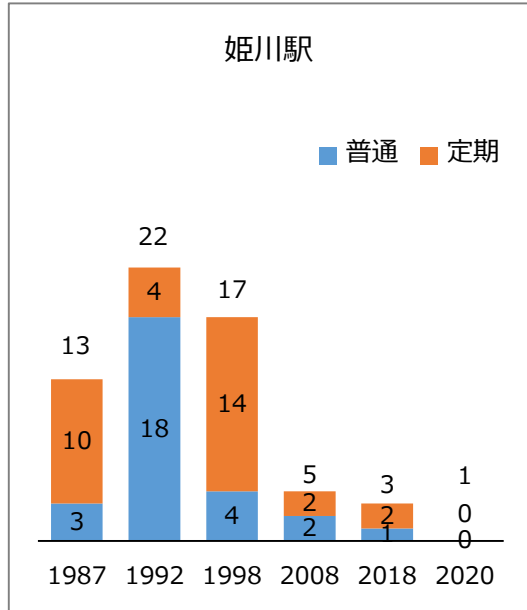
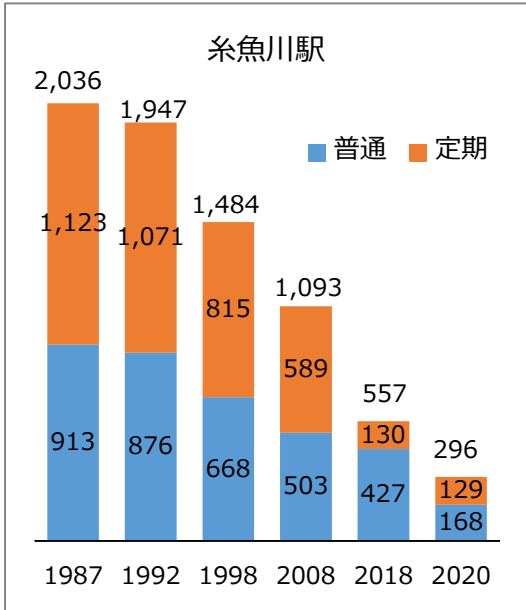
- 大糸線（南小谷～糸魚川）の現状
- 活性化事業の取り組み実績
- ご利用者の動向や沿線住民の移動ニーズ

ご利用状況の推移【南小谷～糸魚川】

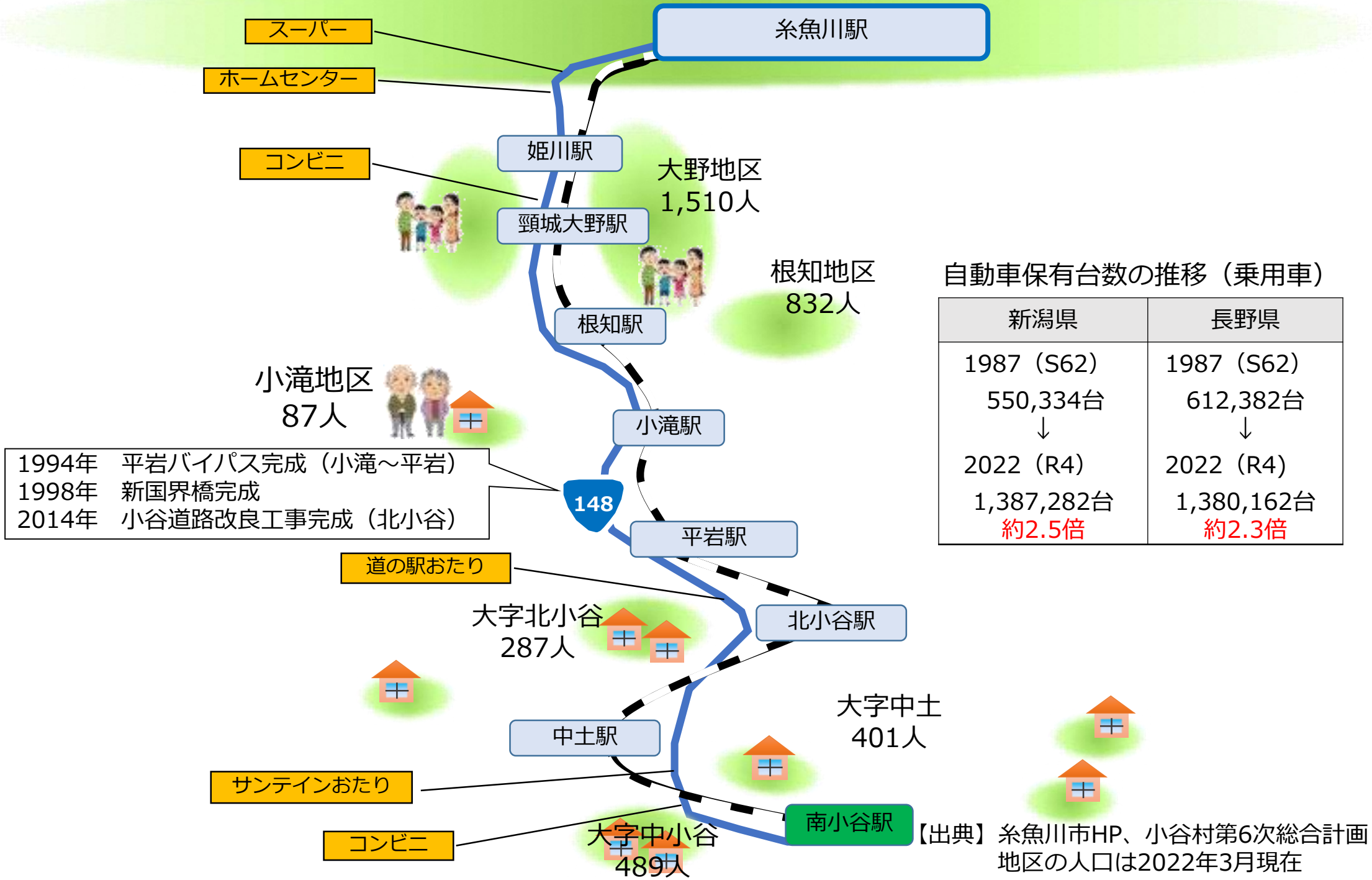
S63(1988)年度～R2(2020)年度



各駅ごとの乗車人員の推移 S63(1988)年度～R2(2020)年度



注：糸魚川駅は2014年度まで北陸本線・大糸線の合計、2015年度以降は北陸新幹線・大糸線の合計となっております。2015年3月14日に北陸本線がえちごトキめき鉄道に移管されております。

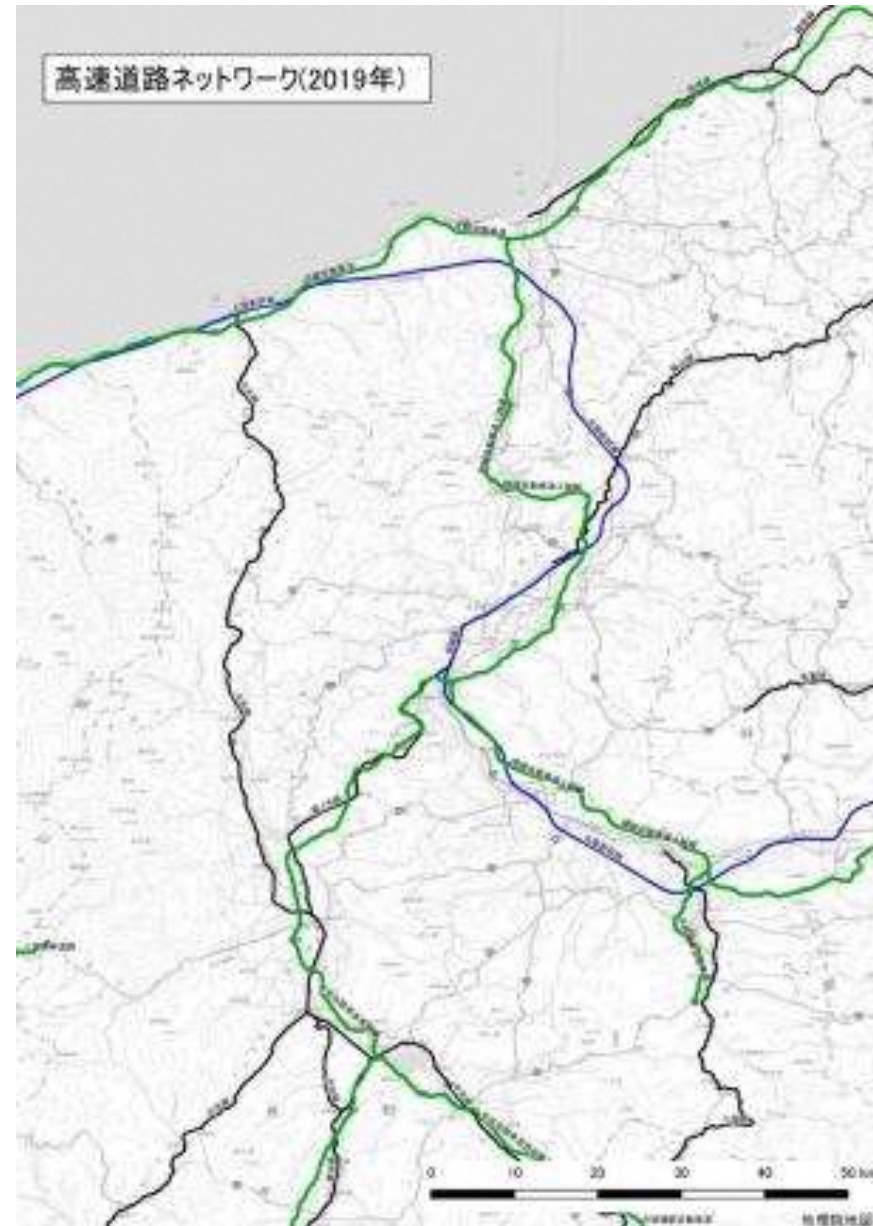


自動車保有台数の推移 (乗用車)

新潟県	長野県
1987 (S62) 550,334台	1987 (S62) 612,382台
↓	↓
2022 (R4) 1,387,282台 約2.5倍	2022 (R4) 1,380,162台 約2.3倍

1994年 平岩バイパス完成 (小滝～平岩)
1998年 新国界橋完成
2014年 小谷道路改良工事完成 (北小谷)

【出典】 糸魚川市HP、小谷村第6次総合計画
地区の人口は2022年3月現在



1988年北陸道、1993年長野道、1997年安房峠道、1999年上信越道が全線開通
※ 長野県松本市から新潟県糸魚川市に至る延長約100kmの区間において、地域高規格道路である「松本糸魚川連絡道路」を整備中。その他にも中部縦貫自動車道も整備中。

○ 事業概要

(1) 生活利用

① 潜在利用者への働き掛け、新規利用者の開拓

② 鉄道とバス（自家用車）との乗継利用の促進

(2) 観光利用

① 沿線の観光魅力や集客力の創出と向上

② 沿線の観光魅力の情報発信 ③ Hakuba Valleyと連携した観光振興

④ 訪日外国人の誘客促進や鉄道ファンの取り込み

⑤ 車両事態の観光魅力や輸送サービスの創出と向上

(3) 地域連携・協働

① 沿線住民のイベント利用促進 ② 小中学校等の行事利用促進

③ 利用促進団体の育成 ④ 沿線地域の教育資源を活用した体験学習

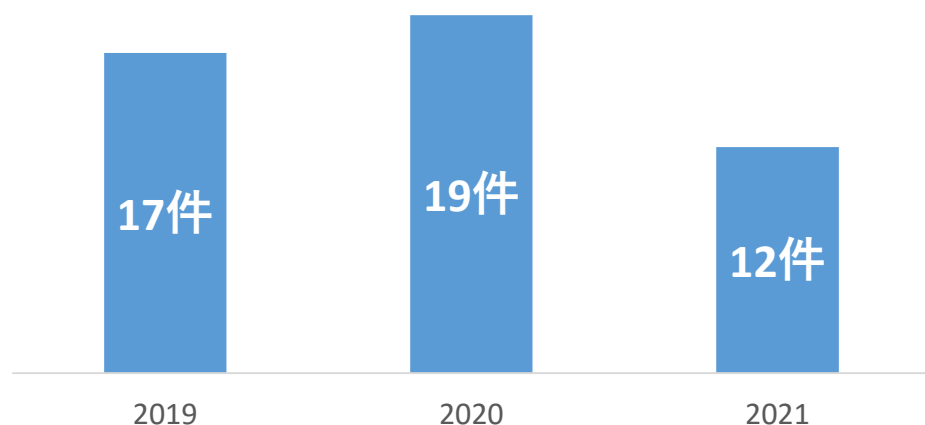
(4) 安全・安心・快適

① 高齢者等が利用しやすい環境づくり

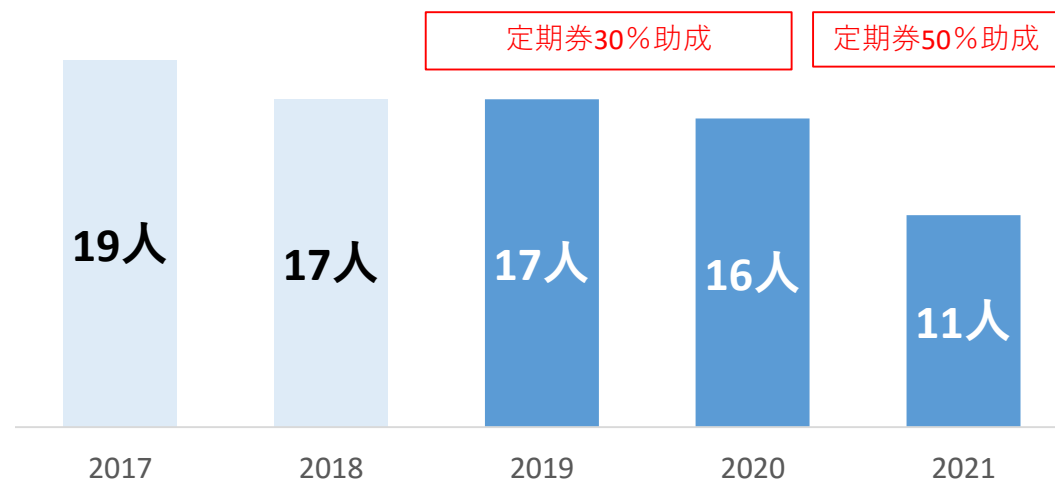
② 沿線目的地の最寄り駅や乗換方法の分かりやすい案内

○ 生活利用の促進（定期券購入費一部助成に関する実績）2019～2021年

定期券購入費一部助成 申請件数



定期利用者の推移（各駅の乗車人員（定期）の合計）

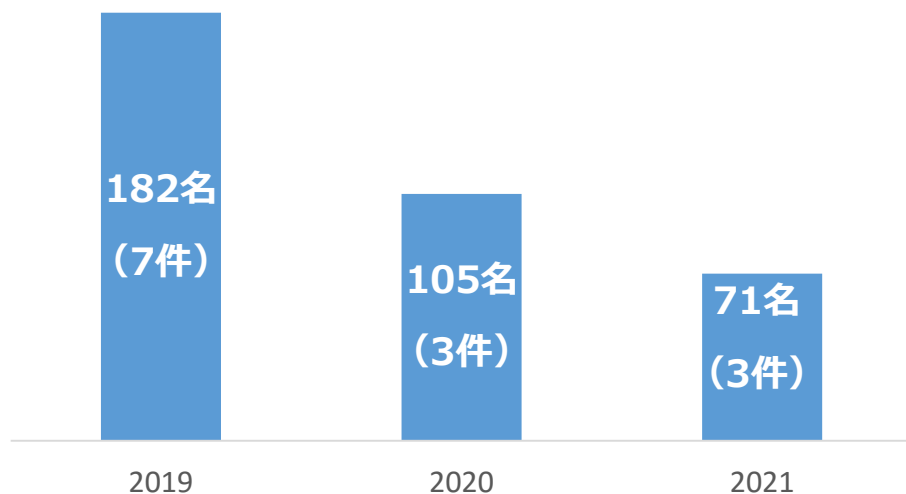


○ 観光利用の強化（企画列車・イベント助成） 2019～2021年

○ 企画列車の参加人数

	雪月花乗入れ	サイクルトレイン	こども車掌体験	バル街トレイン	合計
2019	未実施	参加者 13名 (1日実績)	参加者 親子10組20名	参加者5名 (定員40名)	73名
2020	参加者30名 (定員30名)	未実施	未実施	未実施	30名
2021	参加者41名 (定員44名)	参加者41名 (3日実績)	中止 (コロナ影響)	未実施	81名

○ イベント助成事業の参加者数



<イベント助成事業の例>

- ・ハロウィン列車（2019年度）45人
- ・白馬マウンテンバイク（2020年度）20人
- ・大糸線を楽しむ会（2021年度）25人 など

○ 大糸線65周年記念事業の実施 (8/20)



○ 雪月花の乗り入れ (11/26)



○ サイクルトレインの運行 (9月~11月)



◇ 活性化協議会によらない取り組み

○ 西Naviでの宣伝 (9月号)

○ 65周年ポスターの駅掲出



○ 車掌体験列車 (10月)



〔乗降調査〕

1. 調査概要

利用者の動向や増便バスの感想等の意見を集める目的で、乗込みアンケート調査を9月～12月の月毎に4日間実施

2. 実施内容

①調査日 2019年 9月26日（木）～ 9月29日（日） ※列車のみ実施
10月17日（木）～ 10月20日（日）
11月14日（木）～ 11月17日（日）
12月 5日（木）～ 12月 8日（日）

②対象列車 調査日の全列車と全バス

③対象者 対象列車に乗車している方全員

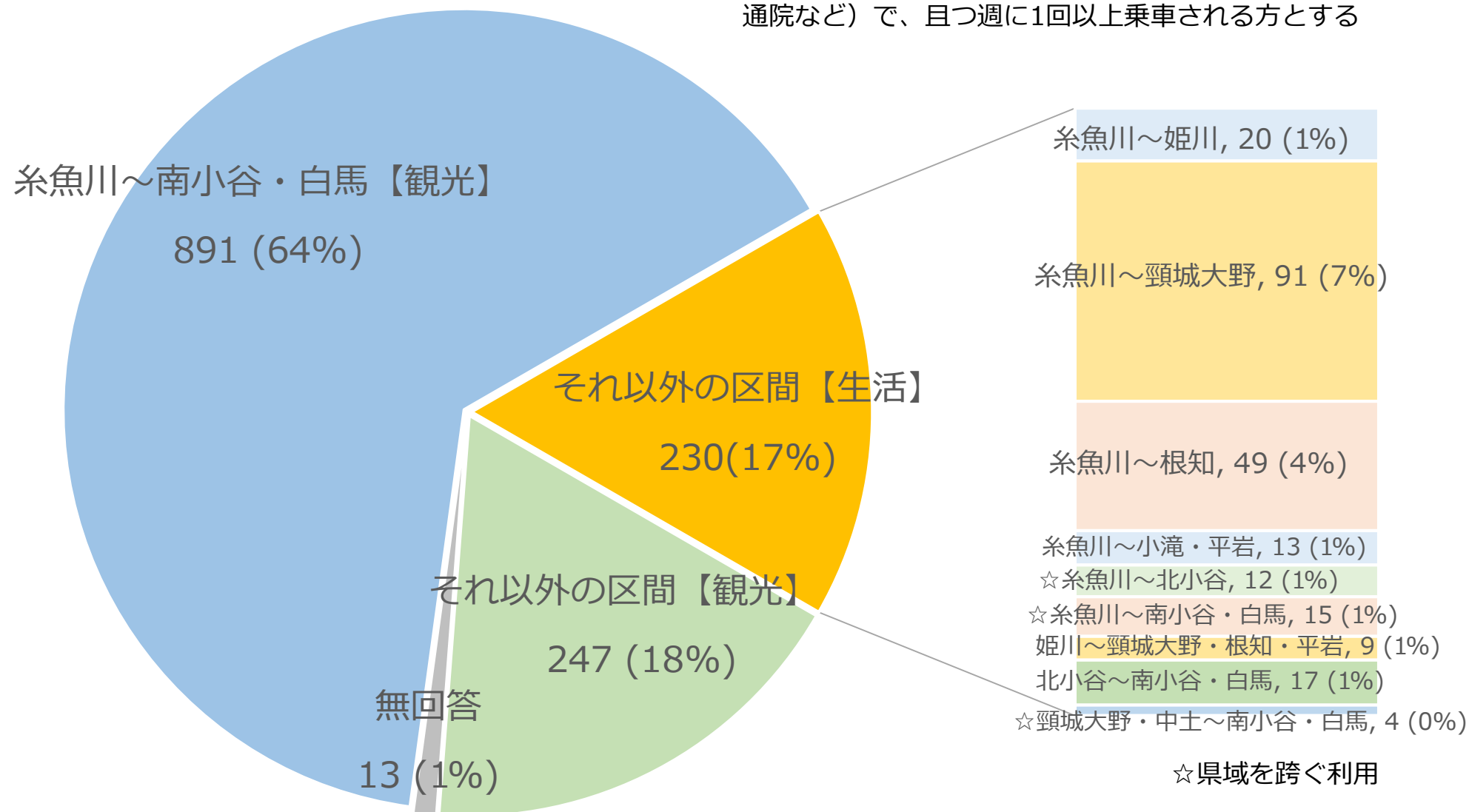
④実施方法 アンケートにより記入方式（聞き取りも実施）

⑤実施主体 大糸線活性化協議会

大糸線（南小谷～糸魚川）のご利用動向について ②

（n=1,381 ※有効回答数）鉄道+バス

※生活利用者とは日常に利用される目的（通勤・通学・買い物・通院など）で、且つ週に1回以上乗車される方とする



観光利用が8割を占め、大半が糸魚川から南小谷・白馬といった拠点間移動であった。
生活利用については県域を跨ぐようなご利用は殆ど見られなかった。

〔沿線住民アンケート〕

1. 経緯

2019年度に実施した増便バス施策や乗込調査の結果、大糸線（南小谷～糸魚川）のご利用者の8割が観光の一時的な利用であり、生活利用は2割ほどであった。

2. 目的

大糸線活性化協議会の取組みとして沿線住民のニーズや移動性を確認することで、更なる生活利用者の潜在需要の掘り起こしや、市村が運営するバスやデマンドタクシーなどを含めた公共交通全体の課題解決に繋げたい。

3. 調査時期

配布：2020年10月初旬 回収期限：2020年10月31日

4. 調査手法

(1) 対象

糸魚川市、小谷村在住の大糸線沿線の住民

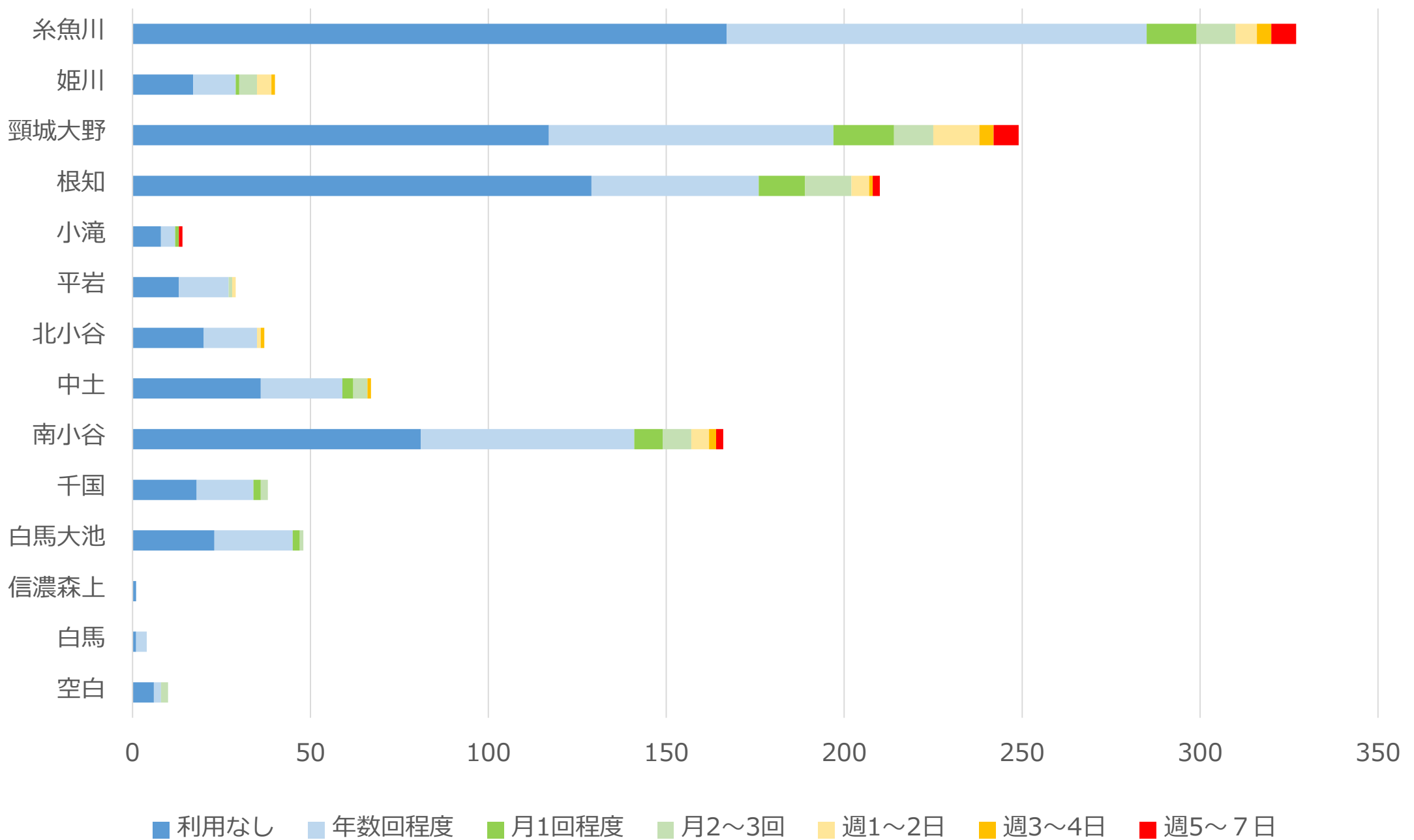
(2) 規模

3,000世帯（糸魚川市1,900、小谷村1,100） 回収1,310（回収率44%）

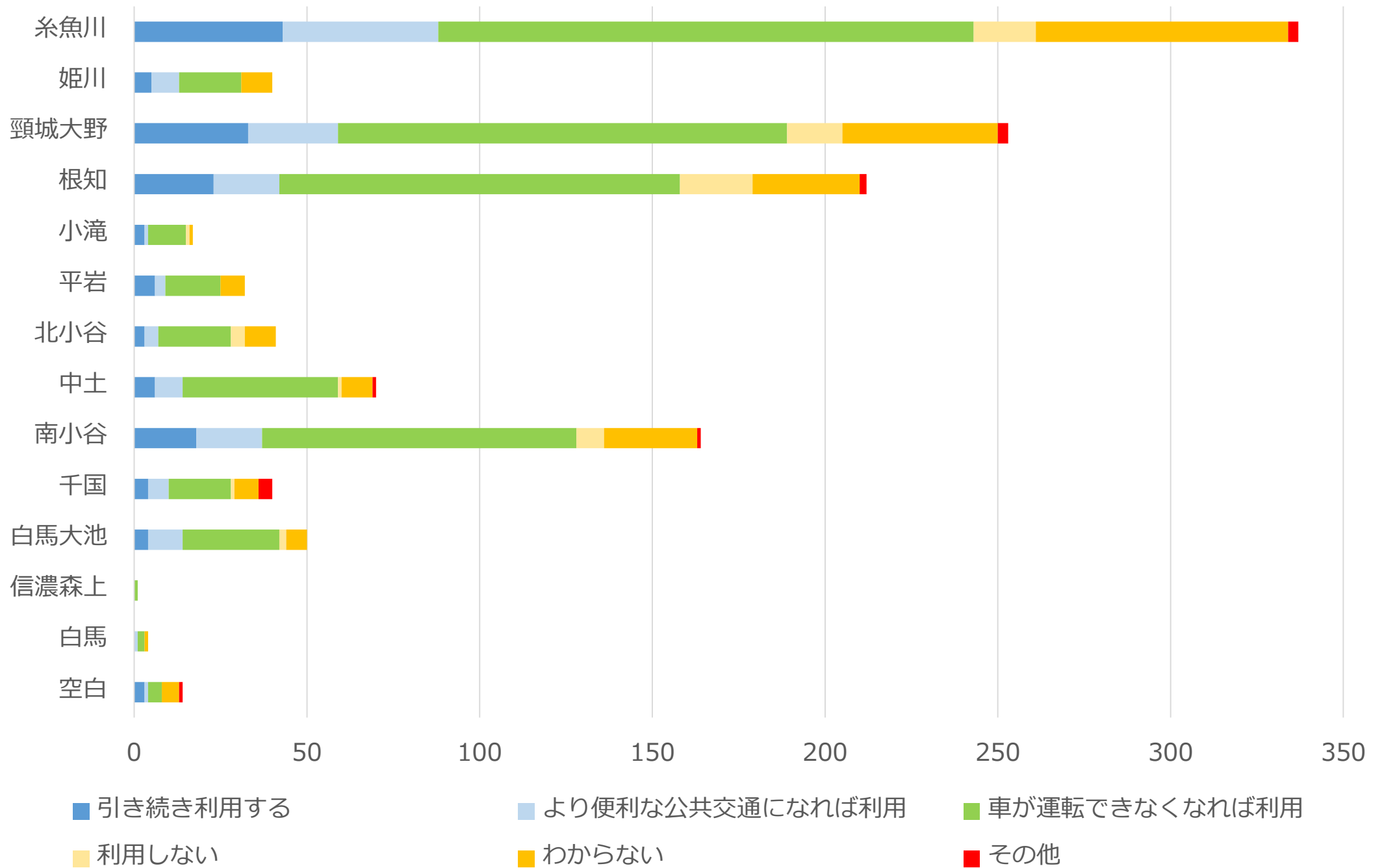
(3) 配布

郵送または広報配布時に世帯宛てに調査票配布、郵送により回収

過去1年間の公共交通の利用頻度 (n = 1,240)



将来、公共交通を利用する可能性 (n=1,275)



将来、公共交通を利用すると回答した方が望むサービス

(n=2,345)

	1位	2位	3位
運転速度が速い	91	85	76
乗りたい時間に乗れる	300	282	248
駅・バス停が自宅から近い	139	113	101
経由地が増えている	34	33	28
決められた時刻に走る	43	35	30
待合所が整備	10	9	9
バリアフリーになっている	18	17	17
乗換えが便利または無い	84	77	65
運賃が安い	96	89	76
車両が新しい	0	0	0
係員の接客がよい	5	5	4
ICカードにより運賃の支払いが楽にできる	23	21	20
その他	25	17	13
空白		5	2
総計	868	788	689

2020.10調査

(n=1,232)

		居住地の最寄り駅 回答数（うち大糸線）	着地（目的地）				
			糸魚川市内	小谷村内	白馬村内	大町市内	その他
発地 (居住地)	糸魚川市内発	糸魚川 321 (4)	85.4%	0.6%	1.2%	0.6%	12.1%
		姫川・頸城大野 294 (26)	93.9%	0.7%	0.7%	0.7%	4.1%
		根知 206 (9)	94.2%	0.5%	1.0%	0.5%	3.9%
		小滝・平岩 25 (5)	88.0%	4.0%	0.0%	4.0%	4.0%
	小谷村発	北小谷 61 (8)	39.3%	34.4%	19.7%	4.9%	1.6%
		中土 147 (10)	4.1%	19.7%	61.2%	10.2%	4.8%
南小谷 178 (7)		2.2%	14.6%	72.5%	9.0%	1.7%	

糸魚川市の住民は市内移動がほとんどで、
小谷村の住民は白馬村への移動が多く、北小谷が分水嶺となっている。

① 輸送力

- 少ない乗務員が一度に多くのお客様をお運びできる。
(1両あたりの乗車定員が多い) ※キハ120形 100人/両

② 定時性 速達性

- 占有軌道を走行することから、安全かつ交通渋滞などの制約を受けない、安定的なサービスを提供することができる。

③ 環境負荷

- 一度に多くのお客様にご利用いただける場合には、走行時のエネルギー効率が高いことから、大きな環境優位性を発揮することができる。

• 鉄道は他の交通機関と比べると、大量輸送、高速輸送、定時輸送の面で強みを持つと認識されている。

(令和3年版交通政策白書より)

鉄道事業会計規則により以下のように仕訳が決まっています。

鉄道事業営業費		
運送費		
	線路保存費	有形固定資産運送施設中、電路、車両（線路保存用特殊車両を除く。）及び自動出改札装置等の営業用機械装置を除いた一切の固定資産の維持補修に要する作業費、保線区、営繕区、建築区等工務関係の現業従業員に係る人件費
	電路保存費	有形固定資産運送施設中電路、変電所機械、通信機械及び電路保存用特殊車両の維持補修に要する作業費、電力区、通信区、信号区、変電区等電気関係の現業従事員に係る人件費
	車両保存費	有形固定資産運送施設中車両（線路保存用特殊車両及び電路保存用特殊車両を除く。）の維持補修に要する作業費、検車区、車両修理工場、車庫等車両関係の現業従業員に係る人件費
	運転費	列車の運転に要する作業費、機関区、電車区、車掌区等運転関係の現業従事員に係る人件費
	運輸費	旅客及び貨物の取扱い並びに列車の組成及び車両の入換えに要する作業費、停車場、営業所及び信号場の業務に従事する者に係る人件費
	保守管理費	有形固定資産運送施設の保守の作業管理に要する費用、本社の工務、電気及び車両関係の従事員にかかる人件費
	輸送管理費	運転及び運輸の作業管理に要する費用、本社の運転及び運輸関係の従事員に係る人件費
その他費用		
	案内宣伝費	自線への旅客誘致に関する企画、広告宣伝等に要する費用、本社又は旅客案内所の企画、広告宣伝等に従事する職員に係る人件費
	厚生福利施設費	住宅施設、医療施設、給食施設、教習所等厚生福利施設に係る費用、厚生福利施設の業務に直接従事する者及びこれらの管理部門の従事員に係る人件費
	一般管理費	鉄道事業の運営の全般に関連する総括的業務に係る費用、役員及び庶務、人事、会計、資材、企画等一般管理の業務に従事する者に係る人件費
	諸税	
	減価償却費	